

第6号
児童数 311名
(男182名女129)



のぶっ子

Tel :0299-66-2076

Fax:0299-66-4692

URL:<https://www.itako-school.jp/nobukata-el/>

〒311-2442
潮来市小泉2090

みんなが主役・みんなで学ぶ学校

あいことば: **あいあい(I.I)大作戦** スローガン: **やさしく かしく たくましく**



3年生がスーパーマーケットの見学に行きました。バックヤードを見せて頂いたり、買い物を楽しんだりすることができました。



4年生がクリーンセンターに行きました。働いている方の苦労や、ゴミはきちんと分別することで資源に変わることを知りました。



6年生が老人福祉施設を訪問しました。手作りのゲームなどを使って、入所者のお年寄りのみなさんと楽しく交流しました。



鹿島アントラーズ選手訪問で知念選手と船橋選手が来校しました。ドッジボールや質問コーナーなどで交流を深めました。



3、4年生が、ミュージアムパーク茨城自然博物館に行ってきました。生き物が大好きな児童が多く、巨大なマンモスやヌアエロサウルスの骨格標本に驚いたり、様々な展示物を触ったり操作したりして、目を輝かせていました。科学や自然の不思議をたくさん味わいました。



3、4年生が、ミュージアムパーク茨城自然博物館に行ってきました。生き物が大好きな児童が多く、巨大なマンモスやヌアエロサウルスの骨格標本に驚いたり、様々な展示物を触ったり操作したりして、目を輝かせていました。科学や自然の不思議をたくさん味わいました。

ムーミンのテーマパーク

に行ったことがあります。幼い頃にアニメで親しみ、可愛らしいムーミンの姿しか記憶になかった私は、ムーミンとその仲間達の紹介パネルの中の一枚に、思わず驚かされてしまいました。そのパネルで紹介されていたのは、目に見えない子『ニンニ』でした。

ニンニは、もともと姿が見えなかったわけではありません。一緒に暮らしていたおばさんから、毎日毎日、一日中、氷みたいな皮肉を言われ続けて、すっかり青ざめてしまい段々と見えなくなってしまったというのです。

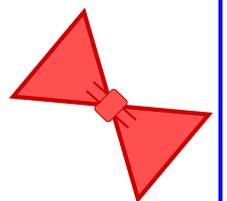
これは私の考えですが、『見えなくなってしまった』というのは、ニンニが自分を守るために感情を閉ざし、心が見えなくなってしまったことを象徴しているのではないかと思います。

「見るができないんだから、世話することもできない。」と、おばさんはニンニの世話を放棄してしまいます。そんなニンニを見るに見かねて、自分の家に連れてきたのが、おしゃまん(トゥーティッキ)です。聡明でムーミンたちの友人であるおしゃまさんは、ニンニが再び見えるようになるようにと、ムーミン一家に世話を頼みました。

ムーミン一家と一緒に暮らし始めたニンニは、ムーミンママのやさしさにふれ、少しずつ姿が見えるようになり、ついには首元まで見えるようになりました。ムーミンやミーは、楽しい話を聞かせたり、遊びに誘ったりしてニンニに働きかけますが、ニンニは少しも喜ばず、声を出すこともなく、ただ静かに付き合っているだけでした。そんなニンニに対してミーは、「それがあなのわるいとこよ。たたかうってことをおぼえないうちは、あなたは自分の顔を持てません。」と言い放ちます。

ある日、ムーミン一家は海岸に出かけました。もちろんニンニも一緒です。みんなでボートを岸に上げた後、ムーミンパパが子どもたちを楽しませようと、ムーミンママにちょっとしたいづらを仕掛けようとしてしました。そのとき、ママの身に危険が迫っていると感じたニンニが、思いがけない行動に出ました。…

子ども達にとって、感情を自由に表現することはとても大切です。けれども、学校など公共の場では、ある程度の我慢も必要になります。児童のみなさんが、感情の表現と我慢のバランスを上手にとれるよう、我々教師と保護者の皆様で上手に連携できればと思います。



参考文献：ムーミン谷の仲間たち トーベ・ヤンソン 著、山室静 訳